

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年11月19日(2015.11.19)

【公開番号】特開2010-241812(P2010-241812A)

【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-043

【出願番号】特願2010-85876(P2010-85876)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 Q	5/06	(2006.01)
A 4 5 D	7/06	(2006.01)
A 4 5 D	7/02	(2006.01)
A 4 5 D	1/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/19	
A 6 1 Q	5/06	
A 4 5 D	7/06	
A 4 5 D	7/02	P
A 4 5 D	1/00	Z
A 4 5 D	1/00	5 0 2 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年9月25日(2015.9.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の工程：

髪纖維に、5g / 分以下の量で蒸気を適用する工程、

これら髪纖維を90乃至230 の温度で成形する工程、

を含み、

前記蒸気の適用と前記成形とが、連続しておらず、

前記成形工程が蒸気を適用する工程の後に実施される、髪纖維に蒸気を適用することのできる平滑化アイロンによる髪纖維のストレートパーマ処理方法。

【請求項2】

使用される蒸気の量が、1乃至4g/分である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

平滑化が、髪纖維の処理しようとする毛房毎に1回の通過で行われる、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

処理しようとする毛房毎に一回の蒸気適用を含む、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

蒸気が、1つもしくは複数の化粧品有効成分を含む、請求項1乃至4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

1つもしくは複数の化粧品有効成分を含む組成物を使用する、髪纖維の美容処理工程を更に含む、請求項1乃至5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

美容処理工程、これに次ぐ蒸気の適用工程、及び、その後の髪纖維を成形する工程を順に含む、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

蒸気の適用工程、これに次ぐ髪纖維を成形する工程、及び、その後の美容処理工程を順に含む、請求項6に記載の方法。

【請求項9】

蒸気の適用工程、これに次ぐ美容処理工程、及び、その後の髪纖維を成形する工程を順に含む、請求項6に記載の方法。

【請求項10】

美容処理工程が、髪纖維のケア工程、これら纖維の洗浄工程、前記成形の工程、パーマメント処理、セミパーマメント処理もしくは一時的染色の工程、還元剤及び任意の固定剤を使用するパーマメント変形工程、並びに水酸化ナトリウムまたは炭酸グアニジンを用いるアルカリ性ストレートパーマ処理工程から選択される、請求項6または7に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

この目的は、本発明によって達成されるが、その主題は、

(i) 髪纖維に、5g / 分以下の量で蒸気を適用する工程、

(ii) これら髪纖維を50 より高い温度で成形する工程、

を含み、前記蒸気の適用と前記成形とが連続していない、髪纖維の処理方法である。